

唐 竹 晚 秋 Karatake in late autumn

O photo by Isao Yoshida

奉仕を通じて平和を

RI会長 田中作次 2570地区ガバナー 木 秀

重点課題は奉仕の追求

第 2509 例会 2012.9.19

- 新世代のための月間 —

天 候 曇 (NO.49-12)

会 長 安藤泰雄 幹事島田秀和 例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 増島君、間邉君

例会場:マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8 20(042)974-4000

事務局:飯能商工会議所内 〒357-0032飯能市本町1-7

雷(042)974-3111代 FAX (042)973-1662

E-mail: hannorc@hanno.ip

" 各ロータリアンは青少年の模範 "

- ・点 鐘 安藤会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・卓 話 大久保さとみ様 和泉如記様

【会長報告】

先週の移動例会は有難うございました。

9 / 12 矢島(巌)会員のお母様が亡くなられ ました。昨日、本日と葬儀におきまして皆様に 世話になりました。故人に対し心よりご冥福 をお祈り申し上げたいと思います。

【幹事報告】

- ・来月席替のため受付に名前をご記入下さい。 例会変更のお知らせ 所沢東RC
- ・10 / 11(木) 10 / 7(日)所沢まつりに振替

【委員会報告】

親睦活動委員会

8月夜間例会には大勢のご参加有難うござ いました。次回は10/17清河園(18時点鐘)。 例会後、蜻蛉亭で懇親会。お月見をテーマに お食事と琵琶の演奏。今月中に出欠をお願い します。10/4ゴルフコンペは24名の申込み。 表彰はゴルフ場、希望者のみ懇親会をご用意。

雑誌委員会 市川(昭)君 『友』9月号。見開き「世界平和フォーラム広島」 の案内。「例会一覧表」が切り取れるようにな っています。横組 P5、特集「新世代は未来のリ ーダー」。P26、米山の基礎知識~寄付金・財政 編。縦組 P 2「いのちの森を未来につなぐ」木 を植えるということは、単なる小手先の技術 ではなく、明日を植えること、命を植えること。 P 7「この人、この仕事」は紳士服のオーダー メイドをされている神谷氏(名古屋中RC)。 P25、左上に飯能新緑ツーデーマーチの記事。

【出席報告】無断欠席·MUなし 中里 忠 出席委員長

会 員 数				当			7回修	
全	数	対	象	出席数	出席率	出	席	率
54名		6名		47名	87.04%	88.89%		%

【結婚・誕生日祝】

吉澤親睦活動委員

入会記念日おめでとう 山岸君

結婚記念日おめでとう 大野君、藤原君 会員誕生日おめでとう

4 木川君、9 中山君、19 土屋良君 22 神田(敬君、28 土屋)崇君

夫人誕生日おめでと 23 森夫人、28 和泉夫人

【SAA報告】

 $= \exists = \exists B O X$

・大久保様、和泉様、ようこそ。いつもお世話になり ます。本日は卓話よろしくお願い致します。

細田(伴)君、市川(洋)君、新井君、高橋君 安藤君、間邉君、服部君

- ・本日還暦を迎えてしまいました。その昔の司法修 習生時代の共済の年金請求の手続きをしています。 土屋良君
- ・ロータリーライフを楽しんでおります。今 後共よろしくお願い致します。 山岸君
- ・誕生祝、有難うございます。

土屋(崇)君、神田(敬)君、中山君

- ・妻の誕生日お祝い有難う。 和泉君
- ・早退 小久保君、小﨑君、矢島、高)君、吉澤君 本日計35000円、累計額256610円。

26 日例会当番は前島会員、森会員です。

【卓 話】

講師紹介 高橋プログラム委員長 大久保様は青梅市出身。飯能ケーブルテレビ (株)専属チーフキャスターとして活躍。 キャリア 19年、県内でも大ベテランのアナウンサー。 和泉様は原市場・中藤育ち。同社・情報通信コンテンツ開発室長。 飯能JCではまちづくり 実践委員会委員長としても活躍されています。

地域放送とソーシャルメディアの展望

飯能日高テレビ チーフキャスター 大久保さとみ様飯能日高テレビ コンテンツ開発室 室長 和泉如記様



大久保様/飯能日高テレビも今年11月からハイビジョン放送を開始します。「多チャンネル時代」到来と言われ、どういった方法で視聴されるかは皆様の選択肢の1つとなりました。県内17のCATV局の中では1982年設立の

当社が最も早く放送を開始。県内約290万世帯中、CATVで番組を見る選択をされている方は59%。民放ドラマの視聴率も軒並み下がっている厳しい競争時代、CATV局も業務縮小、自主放送チャンネルを止める所が多いのが実情です。担当する「街コロンブス」も自主放送ですが、「地域のケーブルメディアが地域の放送を無くしてどうするのだ」「地域の情報は地域が流す」という和泉社長の強い信念と方針の下、自主放送チャンネルにもますます力を入れてやっていこうと決意しているところです。

地域放送の必要性を感じた出来事があります。一時期、私は青梅から離れて部屋を借りて暮していました。その時、地下鉄サリン事件が発生、全てのテレビ局がその報道になりました。私は上九一色村村長の事を知り、サティアンの場所も頭の中でシミュレーション出来ました。ただ、しばらく住んでいた地域で選挙があった時、私は小学校の場所も市長の顔も立候補者の事も全く存じ上げていなかった。その時、「大きなニュースは大きなテレビ局に任せれば良い、地域の細かな事は地域のケーブルテレビが報道するべきだ」と感じたのです。

「アナウンサー」と「キャスター」には明確な違いがあります。マイクを通しその場を取り仕切り、真実をそのまま伝えるのが「アナウンサー」。「キャスター」の仕事はニュースを自分の主観や感想を交えながら伝えていく事と言われています。私はまだまだ「キャスター」と呼べる域には達しておりませんが、地域メディアはこれからは地域のジャーナリズムに変

化していく必要があるのだと思います。 TV には発信する側と受け手がありますが、皆様は発信する側のお立場です。皆様にご活用頂けるような局を創っていかなければと感じます。防災端末「マルチアラート」等、様々な取り組みも行って参ります。



和泉様/マスメディアに対するニューメディア(現在は死語)はそれぞれ、情報の質、伝達手段を重視するものでしたが、未のを語る上で、この2つの長所を融合し進化させる思考が浸透。映画、様々な種類文字入力等、様々な種類

の情報コンテンツやデバイス等を複数のメディアが一まとめにして扱う概念「マルチメディア」が生まれます。個人情報を用いたレコメンド(おすすめ)たいつでも手に入る時代になって来ました。ソーシャルメディア(mixi、GREE、YouTube、25ゃんねる、Facebook、等かうち、各種コンテンツの提供と、人と人とのコミュニケーションを具現化させたのが「ソーシャルネットワーキングサイド(SNS)」。趣味や趣向、居住地域、出身、友人の友人といった直接関係のない他人とのつながりを通じて新たな人間関係を構築する場がサイト上に提供されている。社内コミュニケーション活性化、内定者囲い込み、コンプライアンス対策、情報の地域間格差解消のために導入する企業も増えています。

Twitterの魅力は話が速い事。「電話ならもっと速い」という意見もあり、電話機能は未だ無くならない。状況に応じて利用するメディアを選択する時代になっています。

ローソンは多くのソーシャルメディアを活用。 Facebook上でからあげくん」のクーポン券を配付したところ、開始17時間で「先着30万人」分の配付が終了。レコメンド機能で友人に拡散された。使われたのは20%、6万個が売れた。ステルスマーケティングに芸能人を使うと批判も出るが、架空のキャラクター「あきこちゃん」を置く事で、消費した感覚で紹介、相乗効果を得て消費が促進されます。また、インパクトの無いキャラで他の商品とのコラボやイベントを円滑に行うきっかけとしている点にも工夫が見られる。「ブランドチャート」サイトではソーシャルメディアの活用事例が学べます。

日本ではビジネスと個人ベースの付き合いがごった煮になっている状況で、「この人はどう考えどう動いているか」が、ビジネス上でも見えてしまう等、弊害もあります。メディアを利用するのは、生身の人間、「ITリテラシーの向上」を併せてやっていかないといけないのかなと、仕事をやっていてつくづく思うところではあります。便利な物でもメリット、デメリットがありますので、ビジネス上で展開される際には十分ご留意頂けると本日お話させて頂いた甲斐があったのかなと思います。